#### (特非) エコ・モビリティ サッポロ

# 楽しく快適にSDGsコミュニティ創造事業

ひろげる助成 4年目 実 践

配送システム 23件 モニター数

10件

今年度計画の達成度 **50**%

日標達成度 80%





# 苦労した点と工夫した点

## ■苦労した点

プロジェクト立案数

新型コロナウイルス禍で外出に不安 を感じ食事等の配達希望者が増えた 一方で、導入がハードルとなる声も 聴かれIT格差も含めた地域ニーズに どう対応するか課題となった。

#### ■工夫した点

配送システムを店舗側と配達側間の やり取りに簡易化することで、注文 者はこれまで通り注文できるよう、 段階的に導入が進むよう、地域に あった形にシステムを工夫した。

SDGsコミュニティ創造には、地域住民の機運、合意の醸成、共有、発信する ことが不可欠であるが、それらを支援し持続性させるための事業主体が必 要である。

### (目標

- ●まなびまくり社活動の継続と自立の仕組みを考える
- ●宅配送システムの地域性特性を検証、実験をする
- ●地域循環型のプラットフォーム設立に向けた協議会を開催

#### 活動内容と成果

- ●「まなびまくり社」は活動を継続明確化するため実行委員会として体制を 整えた。参加高校生25人 4回開催
- ●宅配送システム検証実験は4日間23件の配送を行った。超小型EV車両を 使用。システムを地域にあった形に変え、導入のハードルを下げた。狭い エリアで顧客も固定されているため、本システムで十分な活用ができる ことがわかった
- ●事業主体となるプラットフォームの設立は戦略会議からSDGs推進戦略 会議へ名称を変更し4回開催。行政を巻き込んだ形で今後のプラット フォームづくりに向けた事業構想案が作られた





## 全助成期間の活動を振り返って

最終年度の出□に向け、それぞれの活動を明確にし体制を整えた。これ までの活動を次世代にどのように引き継いでいくか、活動の自立が重 要であった。延長したことで活動が縮小、中止したものがあったが、体 制を整えるための十分な時間があったと思われる。一方で多様なセク ターが関わることで地域や目的のズレが生じることもあり、マネジメ ントの難しさも感じた。

 $\pm 060-0031$ 

北海道札幌市中央区北1条東7丁目10-58

電話: 080-4075-7806

E-mail: info@ecomobility-sapporo.jp HP: https://ecomobility-sapporo.jp







若い世代にとってSDGsの実践がかなう場所となるような体制づくり。多様な主体がまちづくりに参画できるプラットフォームづくりを行 い、環境エネルギー分野にとどまらず、南区のまちづくりに関する様々な施策や事業の検討、実践を役割とする。運営を多様な主体と連携、強 化し人材育成・エリアマネジメントを担う組織としてのプレゼンスを高めていくことが、本事業の成果を持続させる重要なステップと考える。